



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 放射線科 山田 大輔

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 山田 大輔

縦隔腫瘍の方を対象とした画像診断に関する研究

1.研究の対象

2010年1月1日から2021年12月31日までに縦隔腫瘍と診断された方

2.研究の目的・方法

現在、CT (Computed Tomography) は重要な画像技術として、縦隔疾患 (左右の肺の間にある領域に生じる疾患) の診断に広く用いられています。本邦においては、胸部CT検査を受けた患者さんのうち、1.68%に偶発的な縦隔病変を有していたという報告もあります。CT検査は基本的には肺癌のスクリーニング検査として広く行われていますが、上記のように偶発的に縦隔病変が検出される事があります。検診CTの中で肺癌は勿論の事、縦隔病変の検出も行わなくてはならず、現状、医師の負担は非常に大きいです。このような状況下で、CT検査における縦隔腫瘍の検出率を向上させるため、人工知能を活用した縦隔病変検出・解析プログラムを開発する事で、診断の精度を向上させる事が今回の研究の目的です。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録 (カルテ) に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、カルテ番号、性別、生年月日、合併症、既往歴、血液検査 (腫瘍マーカー)、手術記録、病理検査結果 (病理検体番号)、画像検査結果 等

4.外部への試料・情報の提供

当院内でのデータ保存は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。人工知能による画像解析はプラスマン合同会社により行われますが、データはパスワード付きのSSDにて保存され、特定の関係者以外がアクセスできない状態で厳重に管理されます。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

プラスマン合同会社 大塚 裕次郎